

# にけーしよん

## 3/17 げんき市でまちを元気に

歩行者天国となった城辺商店街で、まちの元気を集める楽しいスポットを作ろうと、町ボランティア連絡会(兵頭朝美会長)主催による「第9回げんき市」が行われました。今年のげんき市には、過去最多となる約40団体が参加したほか、町内の小・中・高校生がボランティアで運営を手伝いました。当日は春らしい陽気に恵まれ、ストリートライブやまちの魅力を再発見!展、オープンカフェ&屋台、フリーマーケットなど盛りだくさんのイベントで賑わいました。



## 3/17 南光フェスティバル2013

御荘文化センターで、『百花繚乱～文化に魂と情熱を～』をテーマに「南光フェスティバル 美術部・書道部作品展2013 南宇和高校吹奏楽部第27回定期演奏会」が行われ、約400名が華やかで迫力ある演奏と高校生らしい感性豊かな美術・書道作品を楽しみました。

演奏会では、スペシャルゲストとして招かれたやのひろみさんと南宇和高校放送部が司会を務め、吹奏楽部による祝典行進曲「ライジング・サン」やトロンボーン奏者阿部竜之介さんによる特別演奏のほか、恒例の「南高ヒットパレード」などパワーあふれる演奏で会場は大いに盛り上がりました。3年生にとっては高校生活3年間の成果を発表する場であり、涙と笑顔のすばらしいフェスティバルになりました。



## 本日! <sup>うみびより</sup>海日和!! Vol.29 「海のたけのご掘り」

愛南町の給食はおいしい。旬の食材がふんだんに盛り込まれており、今年の初物であるタケノコも給食でおいしくいただいた。そんなわけで、今回は海のタケノコの話である。

砂地に一本の線が引かれていることがある。砂の中に住んでいる生き物が、夜に出てきて這った跡だ。すなわち線のどちらかの端には、生き物が隠れている。何が出てくるか掘り返すのもダイビングの楽しみの一つである。以前は素手で掘り返していたが、隠れていたウニにひどく刺されたことがあり、現在は少し賢くなってナイフを使っている。

出てくるのは薄汚れた二枚貝が多く、これは「はずれ」である。めったに出ない「当たり」の一つがタケノコガイの仲間である。写真のウシノツノガイは長さ15cmの立派なもので「大当たり」であった。海のタケノコはいったいどんな味がするのだろう。



掘り出した海のタケノコ

(写真:タケノコガイ科ウシノツノガイ 撮影場所:瀬の浜)愛南サンゴを守る会 <sup>とちてる</sup>西尾知照

# 愛南こみゆ

## 2/24 猛練習の合間のお接待

南レク城辺球場でスポーツ合宿を行っていた同志社大学硬式野球部を、町連合婦人会(森岡眞由美会長)の有志8名が訪れ、じゃこ飯やぜんざいで「お接待」しました。同野球部からは103名がこの合宿に参加しており、この日用意された約350個のじゃこ飯や白米のおにぎりと約300食のぜんざいは見る間になくなりました。選手にとっては、猛練習の合間のひと時の癒しの時間となったようです。

なお、愛南町では、同志社大学(2/20～3/3)のほか、摂南大学(3/3～9)、太成学院大学(3/10～13)、京都府立南丹高校(3/20～22)の硬式野球部や同志社大学体育会軟式野球部(3/14～20)がスポーツ合宿を行いました。



## 3/3～4/3 石垣の里 だんだん雛祭り



日本を代表する石垣文化の景観地である外泊地区の石垣の里で、いしがき守ろう会(吉田清一<sup>せいいち</sup>会長)と外泊地区が主催する「だんだん雛祭り」が開催されました。

主会場の広場のほか石垣の上や各戸の玄関先には、出品者が、手のひらサイズの石にそれぞれの思いを込めて描いた色鮮やかなめおとびなが合計約250点並べられ、見る人の心を和ませていました。

また、同地区では、石垣の里全体を発光ダイオードでライトアップする「石垣の里イルミネーション」を5月6日(月)までの週末や祝日に実施しています。風情ある夜の石垣の里で、幻想的なひと時を過ごしてみたいかがですか。

## 3/9 農産物コンクール

御荘平城のスーパーエマックス愛南店で、町担い手協議会(河野仁<sup>ひとし</sup>代表)などの主催による町産農作物の品評会「愛南農産物コンクール」が行われ、柑橘、野菜、加工品の3部門に計190点が出品されました。出品された農産物は、審査員により形や品質などで審査され、町長賞、優秀賞が選ばれました。

また、出品作品のせりによる即売会も行われ、即売会の収益21,250円が町社会福祉協議会に寄附されました。

【入賞者は次のとおり】

町長賞 埜下和幸さん(緑乙) 柑橘部門(河内晩柑)

優秀賞 柑橘部門 稲田 壘<sup>るい</sup>さん(御荘平山) 甘夏  
野菜部門 孝野寛也<sup>ひろや</sup>さん(緑乙) 極早生タマネギ  
加工品部門 松本時子<sup>ときこ</sup>さん(城辺甲) 伊予っ子寿し

